

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日： 令和8年（2026年）8月3日

作成者： （課名） 市民協働推進課

（氏名） 久住 俊博

1 基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	宝塚市山本山手地区まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	【基本目標】 4.事故がなく、車の渋滞で困ることがないまち
	【具体的な取り組み】 1.渋滞緩和対策 1 幹線道路の渋滞緩和策の検討 2 利便性の高いバス交通の確保 3 国道176号へのアクセスの改善 2.道路の安全対策 2 市道3259号の交通事故撲滅対策 3 市道3259号の改善についての協議
取組内容の関係課	道路管理課 防犯交通安全課

2 対話の状況

(1) 実施概要	
ア 日時：	令和8年（2026年）8月1日 11：30～13：00
	対面形式
イ 場所：	山本山手Cokoセンター
ウ 出席者：	以下のとおり ＜まちづくり協議会＞ 宝塚市山本山手地区まちづくり協議会（順不同） 対面出席：● ＜関係課＞ 豊田（都市安全部 道路維持管理担当 課長）、 北山（都市安全部 道路管理課 課長）、 中村（都市安全部 防犯交通安全課 課長）、 ＜地域担当＞ 田外（協働の取組推進担当次長）、久住（係長）
(2) 確認できたこと	
詳細は別紙議事録のとおり。以下、概要。	
ア	地域からの要望に対して、所管部署や市として可能な対応を回答した。
イ	要望①の横断歩道については、警察の管轄となっており、市との対話に警察に参加してもらう方法や、要望に対する警察の現地確認による回答をもって考えるやり方も検討する中で、通学路の合同点検の臨時開催を地域から学校や教育委員会に相談することとなった。
ウ	要望②の歩道の縁石については、該当場所の敷地の事業者による工事が必要な場所となっており、市が事業者からの協議に対して対応する形となる。地域から事業者に相談していただくこととなった。
エ	その他の内容として、市道3259線に対する大型トラックの規制については、市が実施できるものではなく、警察の管轄であることを市から地域にお伝えした。また、市道3259線は幹線道路であり、5年に1度の点検に基づき修繕を行っており、直近の道路舗装工事も2層（10cm）の頑丈な舗装をしていることから、今後も同様の対応を予定していることを市から地域にお伝えした。

山本山手地区道路の安全対策要望箇所

2026.07.04

<場所：山手台東3丁目周辺>



要望内容

①

横断歩道の設置（4ヵ所）

②

縁石の変更（以前は店舗側のフェンスが課題となっていたが対策済）

参考：周辺および宝塚市役所の縁石

